



努力のたまもの（持久走記録会）

6日（金）は、持久走記録会を実施しました。夏休み明けから2校時目の休み時間（三和っ子タイム）には、全校生が校庭を走る活動を続けてきました。これは、10月24日（土）に実施した運動会や今回の持久走記録会を目ざしての体力作りであります。

1周走ごとにシールを貼るなど、着々と走りこんできました。先月末から今月にかけては、体育の時間を活用して、本番ながら記録を取りながらの練習となりました。「昨日より、1秒速くなったぞ。」など、日々の成長を感じながら、当日を迎えました。

その練習の甲斐があり、今年は、新記録が4つも出ました。1年男子、3年男子、3年女子、6年男子の記録が塗り替えられました。また、昨年度に引き続き、元PTA会長の阿部様も子どもたちと一緒に走ってくださいました。阿部様の伴走に力を得て、最後まで走り切ることができた子もいたようです。さすがに、高学年児童は走力があり、素晴らしい走りを見せてくれました。

これからの季節は、なわとびで体力づくりを進めていくようになりますが、なわとびとともに、体力づくりのために走ることは継続してほしいと思います。

また、6日は併せてフリー参観も、実施しました。1・2年生のみなさんは、体育館で「地域の人々から」昔遊びを教してもらいました。けんだま、おてだま、こままわし、おはじき等々、昔取った杵柄よろしく華麗な技を披露してくれる地域の人たちとともに、楽しい時間を過ごすことができました。この場をお借りして、お出でいただいた皆様に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。



【力走する子どもたちと阿部様】



【おてだまコーナー】



【こままわしコーナー】

郡山市陽性者182人の教訓

11日（水）に、郡山市立学校長会議がありました。その席上、郡山保健所長より郡山市における新型コロナウイルス感染状況とその対策等についてお話がありました。郡山市では県内の約45%の陽性患者が発生していること、飲食店関係、専門学校関係、課外活動関係で小規模のクラスターが発生したことが報告されました。それらを踏まえて、以下の4点に留意することが大切であると力説されました。

「①課外活動（部活動）の感染予防が特に重要。（マスクの着用）②症状のある教員は決して授業をしてはならない。③対面で食事をしながらの会話は禁物。④家族がPCR検査を実施した児童生徒は判明するまで自宅待機。」この4点は、郡山市で陽性者となった182人の分析で分かってきたことです。

ちなみに、「家族がPCR検査を受けた時から学校を休んで、2日後にその子が陽性になっても、発症2日前から登校していないため、その学校での濃厚接触者は0だったというケース」もあるそうです。郡山市で多数の感染者が発生しているにもかかわらず、郡山市立小・中学校で感染が拡大していないことに対する感謝の言葉を保健所長からいただきました。保護者の皆様のこれまでの取組に感謝するとともに、引き続き感染防止に対する取組をお願いしたいと思います。